

各位



東急不動産・次世代技術委員会 公開セミナー第1回
「ドイツにおける環境建築の最新事情」

- ★ 建物の省エネ性能が2020年までに義務化、この動きに対応するためには？
- ★ 国際標準の上を行くドイツの建築市場から学ぼう！

安倍政権が発表した「成長戦略」にも謳われていますが、日本でも「2020年までに新築住宅・建築物で段階的に省エネ基準の適合が義務化」されます。省エネ基準の義務化を行なってきたヨーロッパ、特にドイツでは建物ユーザーが環境性能をどのように評価し、どのような建物が建てられているのでしょうか？このたび来日する「フラウンホーファー建築物理研究所」のお2人にドイツの最新事情を紹介いただきます。

「フラウンホーファー建築物理研究所」はヨーロッパ最大の応用技術研究機関「フラウンホーファー研究機構」に属する研究所で、<室内空気環境やカビ><エネルギー><音><建材の物性>などの研究を進めています。

今回は来日したダニエル・チルケルバッハ氏、田中絵梨氏から、
・住宅・建築物の省エネ強化に関する欧州&ドイツの最新事情
・建物構造の中の熱と湿気の移動のメカニズム
などのテーマについて、専門知識がない方にも分かりやすく説明いただく予定です。

皆様のご参加をお待ちしています！

【日 時】2013年11月15日(金)18:15～19:45

【場 所】東急不動産(株) 本社2階 第1会議室 (定員40名を予定)
東京都渋谷区道玄坂1-21-2 新南平台東急ビル

【申 込】参加を希望される方は下記問合せ先までお知らせください。(無料)

講 師：ダニエル・チルケルバッハ 田中絵梨



ダニエル・チルケルバッハ

1974年生まれ。2001年、ミュンヘン工科大学にて建築学科修了。その後フラウンホーファー建築物理研究所(在ホルツキルヘン)に就職。2004年より熱湿気部門の課長、2007年より部長代理。主なテーマは熱と湿気のシミュレーション、さまざまな気候での防湿と建築。DIBt(ドイツ建築技術研究所)における断熱に関する専門委員会の一員。WTA(建物の保存のための学術、技術協会)における、内断熱および木造構造の湿気に関する測定の一員。ミュンヘン工科大学および専門学校にて建築物理/防湿に関する講義を担当。



田中絵梨

2003年、お茶の水女子大学 生活科学部 博士前期課程 修了。その後 DAAD(ドイツ学術交流会)の奨学生として渡独し、フラウンホーファー建築物理研究所(在シュツットガルト)の温熱技術部門で、省エネルギー住宅に関する研究を行う。2006年に同研究所の熱・湿気部門(在ホルツキルヘン)に異動。WUFIの日本人ユーザーへのサポートおよび、建材データの作成を担当。現在の研究テーマは、地形と気象データの関係。

※チルケルバッハ氏の講演は田中絵梨氏に通訊いただきます。

【問合せ先】(株)東急住生活研究所 03-3477-1171(吉田Yoshida@tokyu-land.co.jp、鈴木、大森)

★今回の公開セミナーは、東京不動産グループと東京都市大学との連携によって実施するものです。当日11月15日(金)10:45～12:15に、東京都市大学・等々力キャンパス2号館4階でも同様の内容で実施します。こちらに参加いただくことも可能です。ご希望の方はお知らせください。

【東京都市大学(都市生活学部)等々力キャンパス】東京都世田谷区等々力8-9-18